

北海道立文学館「無言館展」開催記念

天満敦子と窪島誠一郎

ヴァイオリンと語りの午餐会 V



日時 2018年7月22日(日)

開場 10:30 開演 11:00 (14:30 終了予定)

会場 札幌グランドホテル 2F「金枝の間」

(札幌市中央区北1条西4丁目)

会費 10,000 円(お食事、税・サービス込み)先着順指定席

ご予約・お問合せ(國田) 電話 090-1528-1334

Fax 011-866-1747 (裏面の送信票をご利用ください)

Email h-kunita@lapis.plala.or.jp

北海道立文学館「無言館展」開催 2018年7月7日(土)~9月9日(日)

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番4号

電話：011-511-7655 Fax：011-511-3266

【開館時間】 9：30～17：00 (展示室入場は16：30まで)

【観覧料】 一般 700 (560) 円、高大生 450 (360) 円、小中生 300 (240) 円、
65歳以上の方 450 (360) 円、() 内は10名以上の団体料金、
障がい者手帳お持ちの方等は無料

【休館日】 月曜日〔ただし7月16日(月)は開館〕・7月18日(水)

主催：札幌窪島会

協力：公益財団法人北海道文学館・一般財団法人戦没画学生慰霊美術館無言館

後援：北海道・札幌市・札幌市教育委員会・北海道新聞社

ヴァイオリン 天満敦子

東京藝術大学大学院終了。海野義雄、故レオニード・コーガンらに師事。在学中に日本音楽コンクール第1位、ロン＝ティボー国際コンクール特別銀賞等を受賞。以来、国際的に活動中。1993年にルーマニアの作曲家ボルムベスクの「望郷のバラード」を日本に紹介。クラシック界異例の大ヒットとなる。2005年、CD「日本のうた」アルバム「ねむの木の子守歌」が第47回日本レコード大賞企画賞を受賞。2016年には無言館での演奏を録音したCD「天満敦子 in 無言館」を発表。その他数多くのCDがいずれも好評を得てロングセラーとなっている。テレビ、ラジオの出演も多く、天衣無縫、個性味溢れる語り口とステージにおける強烈な自己投入が広く人々から愛されている。現在 東邦音楽大学大学院教授。



語り 窪島誠一郎

「信濃デッサン館」「無言館」館主・作家。1941年東京生まれ。印刷工、酒場経営などを経て1964年東京世田谷に小劇場の草分け「キッド・アイラック・アート・ホール」を設立。また1979年長野県上田市に夭折画家のデッサンを展示する私設美術館「信濃デッサン館」を、1997年に戦没画学生慰霊美術館「無言館」を設立した。執筆活動では実父水上勉との再会を綴った『父への手紙』や『信濃デッサン館日記』『無言館ものがたり』『「無言館」への旅』『「明大前」物語』『石榴と銃』『鬼火の里』『父水上勉』『母ふたり』など多数。第46回産経児童出版文化賞、第14回地方出版文化功労賞、第7回信毎賞、第13回NHK地域放送文化賞を受賞。2005年、「無言館」の活動で第53回菊地寛賞を受賞。2016年、第1回澄和フューチャリスト賞を受賞。

国田宛 011-866-1747

<FAX 送信票> 送信日 月 日

「ヴァイオリンと語りの午餐会V」チケット申込み

送付希望枚数 (枚)

チケット送り先

お名前: _____

ご住所: (〒 _____)

電話番号: _____ FAX 番号: _____

携帯電話番号: _____

メールアドレス: _____

* お申込みいただいたご住所にチケットをお送りします。